

全国数学教育学会 第62回研究発表会 プログラム 於:広島大学大学院人間社会科学研究科・教育学部【東広島キャンパス】 日時:令和7年6月28日(土)・29日(日)

<第1日> 6月28日(土)

9:30~11:30 若手研究支援委員会企画(C会場(L102))
若手による談話会

12:00~13:00 受付

※1件の研究発表の時間は25分(発表15分・質疑応答10分)です。

①数学教育学論 ②認知・理解・思考 ③カリキュラム ④表現,説明と証明,コミュニケーション ⑤内容論・教材論(数領域) ⑥内容論・教材論(図形領域) ⑦学習指導方法論(テクノロジー等の活用含む) ⑧教師教育 ⑨その他

		A会場(L205)	B会場(L204)	C会場(L102)	D会場(L104)
	(座長)	早田透	石井洋	加藤久恵	濱中裕明
1	13:00	A-1 ① 赤崎向紀(鹿児島大学大学院教育学研究科)・ 和田信哉(鹿児島大学) 客 thể化理論に基づく数学授業の分析 —共同体倫理と感情に着目して—	B-1 ② 紙本裕一(東京未来大学) 日常会話と教科書の相違点・共通点から見出される算 数科の活動を象徴する語の特徴 —動詞に着目して—	C-1 ④ 河村真由美(大分大学教育学部/広島大学大学院教 育学研究科) 数学科教師による学習者の感情への配慮	D-1 ⑤ 諸橋保(独立行政法人職員) 素数表の作成について —素数と合成数の判別法の検討—
	13:25				
2	13:35	A-2 ① 渡辺信(生涯学習数学研究所) 数学教育における主観的方法と 客観的方法の論文作成	B-2 ② 安部喜敬(広島大学大学院) ザンビア児童における 小数概念の学習過程モデルの構築 —Sfard理論と認知診断モデルとの接続可能性—	C-2 ④ 酒井道太(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究 科)・岡崎正和(広島大学大学院人間社会科学研究 科) 小学校低学年児童の説明の記述の進展の様相 —2年生から3年生にかけての 同一児童の説明の記述の比較から—	D-2 ⑤ 佐々木淳(下関市立大学) 数と式・二次関数の問題に対する 誤答分析及び授業導入への一考察 —文系大学生に行ったテスト分析を基に—
	14:00				
3	14:10	A-3 ⑨ 渡辺信(生涯学習数学研究所) 数学中学校学力テスト問題をみる	B-3 ② 戸田直美 (兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科) 小学校低学年の演繹的に考える力 —5歳児から小学校3年生までの調査を通して—	C-3 ④ 西村禎子(横浜市立茅ヶ崎中学校) 気付きを生かし証明の必要性につなげる授業づくり —振り返ることを通して—	D-3 ⑤ 齋藤雄(埼玉県立所沢北高等学校/早稲田大学大学 院教育学研究科)・宮川健(早稲田大学) 虚数の歴史的発展過程における 認識論的断絶に関する考察 —実体論と関係論の視点から—
	14:35				
	14:45	休憩(10分)			

	(座長)	二宮裕之	和田信哉	宮川健	木根主税
4	14:45 15:10	A-4 ③ 迫田彩(広島大学附属福山中・高等学校) Paradoxicalな言説を中心とした数学授業	B-4 ⑥ 西澤誠(高知県立高知東高等学校)・ 服部裕一郎(岡山大学)・袴田綾斗(高知大学)・ 中野俊幸(高知大学) 相対的で構築的な定義観の育成を目指す 定義活動の設計と実践 —正多面体の定義を構成・比較する活動を通して—	C-4 ⑧ 友定章子(鳥取大学)・溝口達也(鳥取大学)・ 真野祐輔(広島大学)・早田透(鳴門教育大学) 算数授業研究会における 教師の授業観察行動に関する調査問題の開発 —教授観察システムの構築に向けて—	D-4 ⑨ 片岡啓(元和歌山大学) 旧制中等工業学校における画法幾何の指導 —求められた実用的側面の実像—
5	15:20 15:45	A-5 ③ 花崎誠太郎(広島大学大学院人間社会科学研究科)・ 真野祐輔(広島大学大学院人間社会科学研究科) 数学教育学におけるカリキュラム概念の拡張 —教授人間学理論に基づくアプローチ—	B-5 ⑥ 天野秀樹(広島大学附属東雲中学校) おうぎ形の中心角に対する生徒の捉えに関する研究 —提言:移動でおうぎ形の授業をつくり, 形感覚を伸ばす—	C-5 ⑧ 八島恵美(広島女学院大学)・ 河村真由美(大分大学)・栗谷好子(群馬大学)□ 実務家教員の授業改善に関するセルフスタディ —教職課程算数科科目を対象とした事例研究—	D-5 ⑨ 播摩朔良(広島大学大学院人間社会科学研究科) 国際バカロレア数学と日本の数学科における カリキュラム分析
6	15:55 16:20		B-6 ⑥ 山脇雅也(鳥取市立福部未来学園)・ 玉木義一(八頭町立船岡小学校)・ 田中克征(北見藤高等学校)・溝口達也(鳥取大学) 中学校数学における おうぎ形の移動に関する知識の生態	C-6 ⑧ 袴田綾斗(高知大学) 教員養成における数学カリキュラムの新たな方向性 —探究としての教材研究を通じた 線形代数の学習可能性を事例に—	D-6 ⑥ 杉野本勇氣(香川大学)・紙本裕一(東京未来大学)・ 福田博人(岡山理科大学) ハノイの塔を事例とした ネガティブ・ケイパビリティの様相 —問題解決後の嚁鳴の分析—
	16:20 16:30	休憩(10分)			
	16:30 18:00	開会行事・総会(16:30~18:00):A会場(L205)			
	18:30 20:00	懇親会:広島大学学士会館 1F ラ・ボエーム(広島大学東広島キャンパス内)			

<第2日> 6月29日(日) 午前

		A会場 (L205)	B会場 (L204)	C会場 (L102)	D会場 (L104)
	(座長)	溝口 達也	袴田綾斗	渡邊慶子	服部裕一郎
7	9:00	A-7 ⑨ 井上智之(鳴門教育大学大学院) Research on Basic Arithmetic Skills of High School Students in South Africa	B-7 ④ 山本文隆(有明学園有明高校) フェルマーの最終定理 三角形の形からの簡易証明 —平方根無理数に潜むピタゴラス数—	C-7 ⑤ 寺井あい(和歌山市立松江小学校)・ 加藤久恵(兵庫教育大学)・ 指熊衛(西宮市立樋ノ口小学校)・ 日野圭子(宇都宮大学) 比例的推論における ユニット化の進展を目指した算数科授業づくり —小学校第1学年「形づくり」の学習を通して—	D-7 ⑦ 小川健(専修大学経済学部) 数学系の科目における反転授業が適さないとき —こういう場合に反転授業は事実上成立しない—
	9:25				
8	9:35	A-8 ⑨ 渡邊耕二(宮崎国際大学教育学部)・ 杉原春渚(宮崎市立住吉小学校) PISA数学的リテラシーの 解答パターンの変化に関する研究 —PISA2018とPISA2022の比較から—	B-8 ④ ドアン レ ミン ホン(広島大学大学院人間社会科学研究科)・真野祐輔(広島大学) Relationship between proving and modelling activities in graph-theoretical inquiry (グラフ理論に関する探究における 証明活動とモデリングの関係づけ)	C-8 ⑤ 両角達男(横浜国立大学教育学部)・ 八神純一(横浜国立大学教育学部附属横浜中学校) 関数 $y = ax^2 - a$ に関する中学生の数学的探究□	D-8 ⑦ 藤井圭介(高知大学教職大学院)・ 中野俊幸(高知大学) 動的幾何学習場DGEsによる探究活動の研究 —Geogebraを活用した 教材開発とドラッグの役割について—
	10:00				
9	10:10		B-9 ④ 宮武昌杜(埼玉大学大学院教育学研究科) 対話的学びにおける学習者のメタ認知に関する考察 —きく側の「内なる教師」の形成及び変容—	C-9 ⑤ 藤原大樹(鳴門教育大学) データから2量の関係にある関数とみなすことの 定義と特徴についての一考察	D-9 ⑦ 中西隆(元広島大学院生)・馬場卓也(広島大学) 探究学習における方法論的振り返りについて —古代の位置付ける活動を例にして—
	10:35				
	10:35 10:45		休憩(10分)		
	10:45	全体会:A会場(L205) 【シンポジウム】背景的な研究テーマを前景化する スピーカー:早田透(鳴門教育大学)・石橋一昂(岡山大学), 山田篤史(愛知教育大学),上ヶ谷友佑(広島大学附属福山中・高等学校) 司会:和田信哉(鹿児島大学)			
	12:15				
	12:15 13:15	昼休憩(60分)			

<第2日> 6月29日(日) 午後

		A会場 (L205)	B会場 (L204)	C会場 (L102)	D会場 (L104)
	(座長)	影山和也	両角達男	岩崎浩	山田 篤史
10	13:15 13:40	A-10 ① 上ヶ谷友佑 (広島大学附属福山中・高等学校)・ 大谷洋貴 (大妻女子大学) 倫理的な数学の授業を目指した 「客観性」・「確実性」再考 —推論主義の視座から—	B-10 ⑦ 井上翔太 (広島大学大学院人間社会科学研究科) 中学校数学科における 自律的な生徒を育む授業に関する研究 —『学び合い』の授業実践を通して—	C-10 ② 中尾真也 (関西福祉科学大学)・ 岡崎正和 (広島大学) 数学教育における振り返りと授業との連続を目指して —拡張焦点化分析による 振り返り活用学習の事例分析—	D-10 ② 秋田美代 (鳴門教育大学) 数学における認知能力と非認知能力の 相互補完関係についての研究
11	13:50 14:15	A-11 ① 野木海斗 (早稲田大学大学院教育学研究科)・ 宮川健 (早稲田大学) 「移動」と「変換」に着目した図形領域の日仏比較 —中学校教科書のプラクセオロジー分析を通して—	B-11 ⑦ 長沢圭祐 (新潟市立両川小学校／広島大学大学院人間社会科学研究科) Argumentationを視点とした練り上げの 発問行為における教師の状況判断に関する研究 —小学校第1学年「順序数の計算」における 2つの実践の比較を通して—	C-11 ② 大山翔平 (広島大学大学院人間社会科学研究科) コモグニティブアプローチに基づく 数学的表記の意味構成	D-11 ② 石川雅章 (愛知教育大学) 事象の数学化過程において Human Agencyはどのように処理されるのか？ —日本語と数学言語の構造差に着目して—
12	14:25 14:50 14:50 15:00	A-12 ① 芳山諒馬 (埼玉大学大学院教育学研究科) 数学教育と特別支援教育における 『理解』の同異点に関する研究	B-12 ⑦ 岡田こころ (広島大学大学院人間社会科学研究科)・ 真野祐輔 (広島大学) 協働的な探究活動の特徴づけ —SRPにおける様々な往還を視点として—	C-12 ⑦ 神保勇児 (昭和女子大学) 小学生が考える決め方の妥当性についての検討	D-12 ② 石橋一昂 (岡山大学学術研究院教育学域)・ 上ヶ谷友佑 (広島大学附属福山中・高等学校)・ 重松正樹 (広島大学附属福山中・高等学校) 文章題解決における物語の拡張 —文章題の虚構性についての replication studyを通じて—
		休憩 (10分)			

	(座長)		清水紀宏	上ヶ谷友佑	岡崎 正和	
13	15:00		B-13 ⑨ 松島充(香川大学)・影山和也(広島大学) インクルーシブ理数教育の再概念化 —Watson, A. のCare論の拡張—	C-13 ⑧ 湯田しおり(広島大学大学院人間社会科学研究科) ザンビアにおける数学教師の気づきに関する研究	D-13 ② 関守陽大(岡山大学教職大学院) 批判的思考を育成する 高校数学の授業デザインとその実践 —生徒による問題設定に着目して—	
14	15:35		B-14 ② 西宗一郎(広島大学附属三原中学校) 数学の小集団活動で生じる ケアリング関係に関する考察	C-14 ⑨ 木根主税(宮崎大学)・添田佳伸(宮崎大学)・ 渡邊耕二(宮崎国際大学) 数学教育における生徒の価値観形成に及ぼす 教師の影響に関する研究(11) —単元「円の性質」における教師Cの 価値観アラインメント方略に関する事例研究—	D-14 ④ 平松宏一(岡山大学教職大学院) 高等学校数学における 日常的事象と数学的問題解決の相互構成過程 —記号論的連鎖の入れ子モデルを通して—	
	16:00					
	16:10	休憩(10分)				
	16:10	閉会行事(16:10~16:20):A会場(L205)				
	16:20					